

# ハイガイ、シオヤガイ等、暖かい地方に生息する貝が 若狭湾にもおるのかも？

福 岡 修\*

福井県の南端に位置する高浜町には長い砂浜があって、巨大なハマグリやサルボウ等が打上げられる。青葉山へ登る時や、内浦湾を訪れたり、古い仏閣を見歩いたりした時等、浜へ入っては貝を探していた。

1990年、1991年3月5日、1996年3月16日、1996年4月21日と4回にかけて高浜町東三松、中寄にかけて打上げられたハイガイ (*Tegillarca granosa*) の左殻4ヶを拾った。

その後も何回か通って浜を探してみたがハイガイは打上げられていない。

今年1999年5月10日にこの海浜で打上げられる貝類を調査する為に微小種をも採集すること

にして、所々にかたまっている貝殻、砂、ゴミを袋に入れ持ち帰りこれを篩に掛け分別したところ、シオヤガイ (*Anomalocardia (Anomalodiscus) squamosa*) の左殻1枚が出て来た。又、別の袋からはカニノテムシロガイ (*Plicarcularia bellula*) の破片1ヶが出て来た。

上記のハイガイの2ヶは白くなって少し古い感じがするが、残り6ヶは艶もありきれいであり、埋没していたものとは考え難く、カニノテムシロとシオヤガイは美品である。

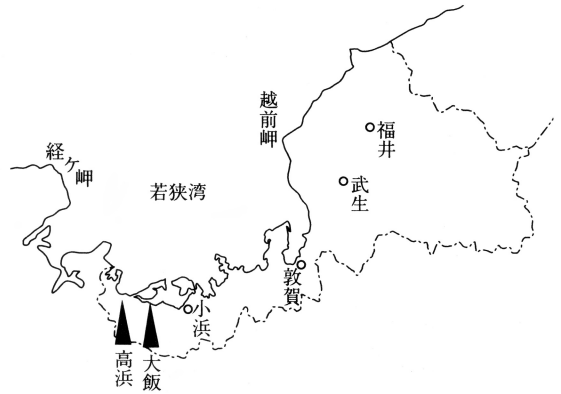
1991年1月から高浜町病院の建設工事が始まり、地下から自然貝層が多く出て来たがその中には何種かの暖地方の貝が出ている (中川、福岡ほか1993)。

又、その頃に大飯町長井の浜にビヨウブガイ (*Trisidos. kiyonoi*) が打上げられているものを見つけ採集した。これは沖合に防波堤があり、工事中に地中埋没していたものが地上に出て来たものと考えられる。

更に、大飯町が青戸入江の小浜線側を埋立敷地造成し、建築工事の際にも杭打・掘削された土の中からも、多くのイヨスダレガイ (*Paphia undulata*) 等と共にビヨウブガイを拾った。

いづれにしても上記のハイガイ、シオヤガイ、カニノテムシロガイは他地方から持込まれて捨てられた可能性もあり、今後は何とか生貝を見つけ記録をはっきりさせたい。

尚、高浜町以南で上記の3種のうち、シオヤガイが山口県萩市西ノ浜で採集記録があり、同県の日本海側で半化石のハイガイの報告があるが、記録が少ない。



\* 日本貝類学会会員 (〒916-0035 鯖江市新町7-6)

福 岡 修

文 献

若狭海岸における貝類の出現分布（伊藤勝千代 1990）日本海区水産研究所研究報告第40号

兵庫県北部（但馬）海岸およびその沖合に産する貝殻（伊藤勝千代 1967）日本海区水産研究所研究報告第18号

福井市立郷土博物館所蔵 貝類標本目録（窪田彦左衛門 編 1962）

概説 山口県の貝類（山口県立博物館 1992）

高浜自然貝層（中川登美雄，福岡修ほか 1993）福井市自然史博物館専報第1号

萩附近の貝類目録（萩市科学博物館 1957, 1960）

海産貝類目録（鳥取県立科学博物館所蔵目録1966）